

令和7年度第1回 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

日時：令和7年5月19日（月）

18時から

場所：宇治市役所

8階 大会議室

<次第>

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 報告
宇治市乳幼児教育・保育支援センターの設置について
- 4 検討
専門部会の検討体制等について
- 5 令和7年度 乳幼児教育・保育協働研修 年間計画等について
- 6 その他連絡事項
- 7 閉会

<資料>

		ページ
① 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 委員名簿	資料 1	… 1
② 乳幼児期の教育・保育の今後のあり方について	資料 2	… 2
③ 今後の検討事項及び検討体制について	資料 3	… 5
④ 令和 7 年度 乳幼児教育・保育協働研修 年間計画等	資料 4	… 1 3
⑤ 令和 7 年度 架け橋ブロック一覧	資料 5	… 1 7

宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

委員名簿

分野	所属等	氏名
学識経験を有する者	京都教育大学 教育学部 准教授	佐川 早季子
幼稚園・保育施設の 従事者	宇治福祉園 理事長	杉本 一久
	こざくら幼稚園 園長	松井 明恵
	北木幡保育所 所長	坂本 知枝美
	ひがしうじ幼稚園 園長	篠原 真奈美
小学校の関係者	岡屋小学校 校長	杉本 俊恵
療育施設の従事者	京都府社会福祉事業団 こども発達支援センター 発達支援課長	中村 知雄

(合計 7名)

※網掛け表示は新任委員

※任期は令和5年4月28日～令和8年4月27日(3年)

乳幼児期の教育・保育の今後のあり方について

<これまでの経過>

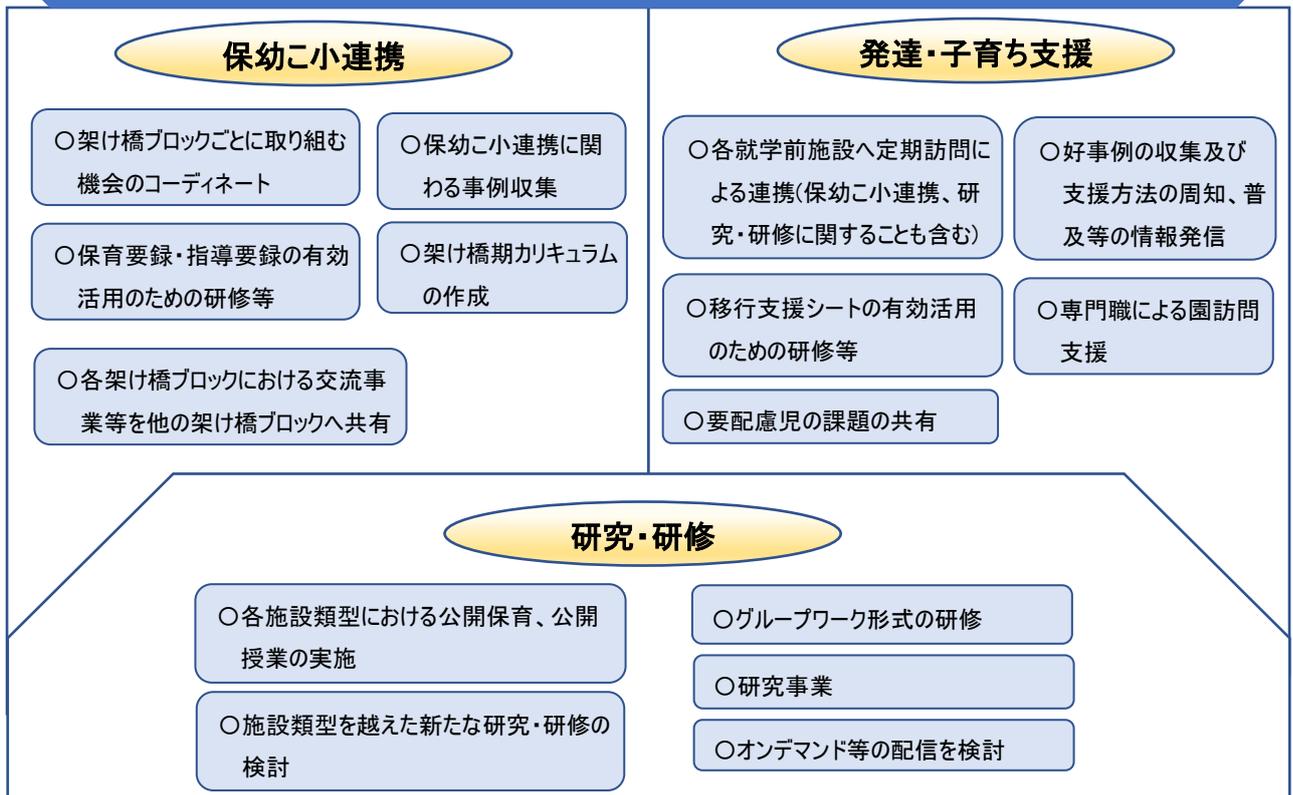
- (令和4年度)4～8月 乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会(全5回)
 - 8月 乳幼児期の教育・保育の今後のあり方に関する意見書
 - 9月 公立幼稚園の今後のあり方について(宇治市教育委員会)
 - 乳幼児期の教育・保育の今後のあり方について(宇治市)
- (令和5年度)4月～ 乳幼児教育・保育推進協議会を設置・開催
 - 6月～ 保幼小連携専門部会、発達・子育て支援専門部会を設置・開催
 - 1月 合同部会を設置・開催
- (令和6年度)4月～ 乳幼児教育・保育推進協議会を開催
 - 7月～ 保幼小連携専門部会、発達・子育て支援専門部会を開催
 - 12月 研究・研修専門部会を設置・開催
 - 2月 「乳幼児期の教育・保育の基本理念」を設定
 - 「宇治市乳幼児教育・保育支援センター運営指針」を作成

施設類型を越えて全市的に連携・協働し、各施設での取組を共有することにより、これまで以上に、保幼小連携の取組推進や人材育成を図り、もって教育・保育の質の向上に資することを目的として、以下のとおり基本理念を定め、令和7年4月に宇治市乳幼児教育・保育支援センターを設置しました。

基本理念

育もう 未来のつぼみ 咲かせよう それぞれの花
「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」

令和7年度3つの柱における主な取組内容



○令和7年度 乳幼児教育・保育支援センターの構成員

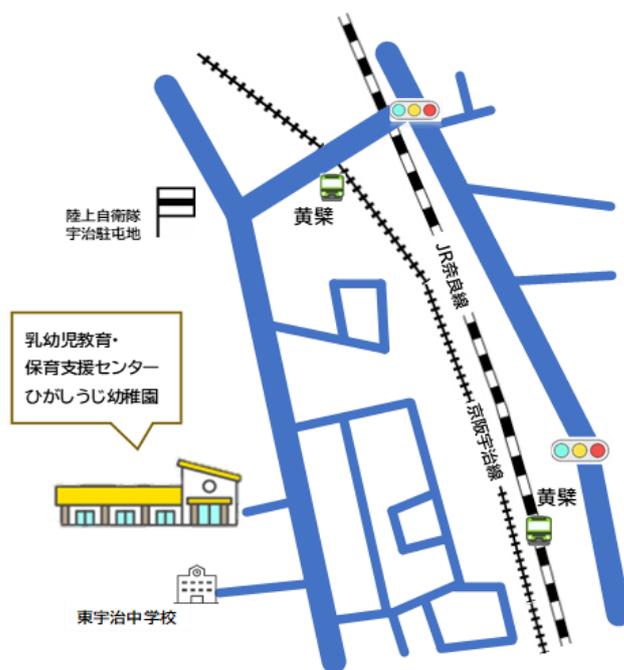
No.	職・氏名	兼務・併任	主な役割
1	センター長 雲丹亀 正記 【事務】	福祉こども部副部長 教育部学校教育課担当課長	センターの統括
2	副センター長 松井 友和 【事務】	福祉こども部副部長 教育部学校教育課担当課長	①統括補佐 ②福祉こども部内連携業務
3	副センター長 川崎 吉隆 【事務】	教育部副部長	①統括補佐 ②教育部内連携業務
4	副センター長 武田 義博 【指導主事】	教育部教育総合推進センター長	①統括補佐 ②教育部内連携業務
5	担当課長 栗田 益典 【事務】	福祉こども部保健推進課長	保健推進課内連携業務
6	主幹 鶴谷 真希 【事務】	教育部学校教育課主幹	①推進協議会の運営 ②園訪問支援事業の実施に関する事
7	主幹 垣見 千里 【幼稚園教諭】	教育部学校教育課主幹	①研究・研修の計画・実施に関する事 ②園訪問支援事業の実施に関する事
8	主幹 中村 清美 【幼稚園教諭】	ひがしうじ幼稚園主幹	移行支援シートの運用に関する事
9	主幹 岩崎 温美 【幼稚園教諭】	教育部学校教育課主幹	①保幼小連携に関する事 ②園訪問支援事業の実施に関する事
10	主幹 畑下 訓子 【保健師】	福祉こども部保健推進課副課長 教育部学校教育課主幹	①発達・子育て支援に関する事 ②園訪問支援事業の実施に関する事
11	主任 岡 千尋 【発達相談員】	福祉こども部保健推進課主任	①園訪問支援事業の実施に関する事 ②研修(発達・子育て支援)の実施に関する事
12	主任 小倉 歩 【発達相談員】	福祉こども部保健推進課主任	①園訪問支援事業の実施に関する事 ②研修(発達・子育て支援)の実施に関する事
13	主任 春田 ひろみ 【発達相談員】	福祉こども部保健推進課主任	①園訪問支援事業の実施に関する事 ②研修(発達・子育て支援)の実施に関する事
14	会計年度任用職員 【事務】		①推進協議会の運営補助 ②その他各業務の補助

○就学前施設の取組

全ての就学前施設が施設類型を越えて、センターと連携しながら、子どもたちの状況や課題を共有し、連携・協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成を図る。

これに加えて、私立、民間の就学前施設においては、それぞれの施設で特色ある独自の教育・保育を実践することで、更なる教育・保育の質の向上を図り、公立就学前施設では、特別な配慮や支援が必要な子どもへのセーフティネットを担う仕組みづくりに取り組む。

○乳幼児教育・保育支援センター(拠点)所在地



○令和7年度 センターの取組み等

令和7年4月 7日 乳幼児教育・保育支援センター開所式

4月 8日～ スタートカリキュラム改善・実践校訪問

4月 9日～ 各就学前施設・学校等にセンターの取組みを説明

4月15日～ 架け橋ブロック会議開催に向けたコーディネート開始

4月22日～ インスタグラム試行実施開始

4月25日～ 園訪問支援事業(定期訪問)開始

4月28日 宇治支援学校来訪・意見交換

4月30日 京都府幼児教育センター訪問・意見交換(かめおか乳幼児教育センターと共に)

5月19日 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会開催

今後の検討事項及び検討体制について

○検討事項

昨年度までは、宇治市のすべての子どもの育ちを応援していくために、「研究・研修」「保幼小連携」「発達・子育て支援」の3つの機能の具体化に向けた方策及び施設類型を越えた「乳幼児期の教育・保育の基本理念」等を検討いただいた。

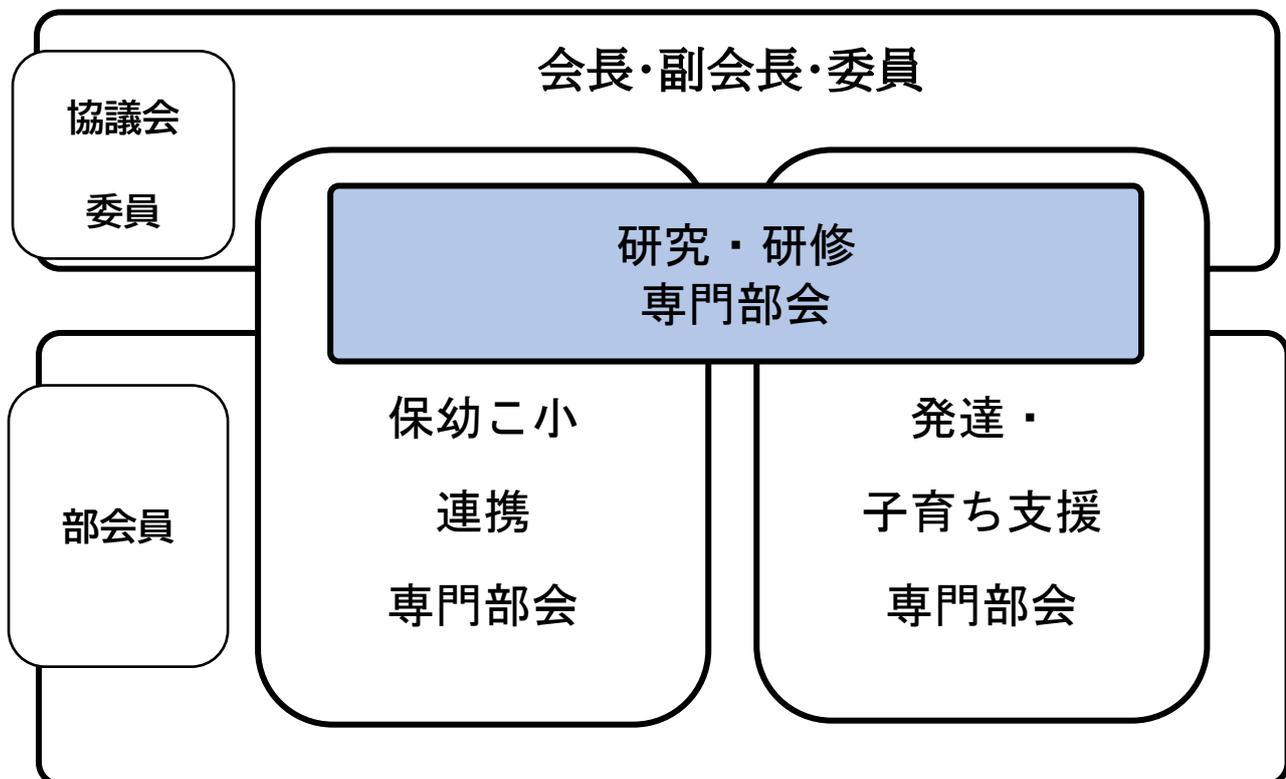
乳幼児教育・保育支援センター設置後においても、より効果的な取組が実施できるよう、取組の実施状況の確認や評価など（PDCA）、引き続き検討をお願いしたい。

○検討体制の経過

「保幼小連携」「発達・子育て支援」の推進に向けて、現状把握、課題抽出、対応策の検討等について、令和5年度よりそれぞれ専門部会を設置し、両部会長を中心に積極的な議論・提案等をいただいている。

また、研修計画の検討にあたっては、施設類型を越えた子どもに関わる関係者で、今後の乳幼児教育・保育に関わる人材育成のあり方を検討するため、会長並びに両専門部会から選出された委員による「研究・研修専門部会」（令和5年度は「合同部会」）を開催し、熱心なご議論をいただいたところです。

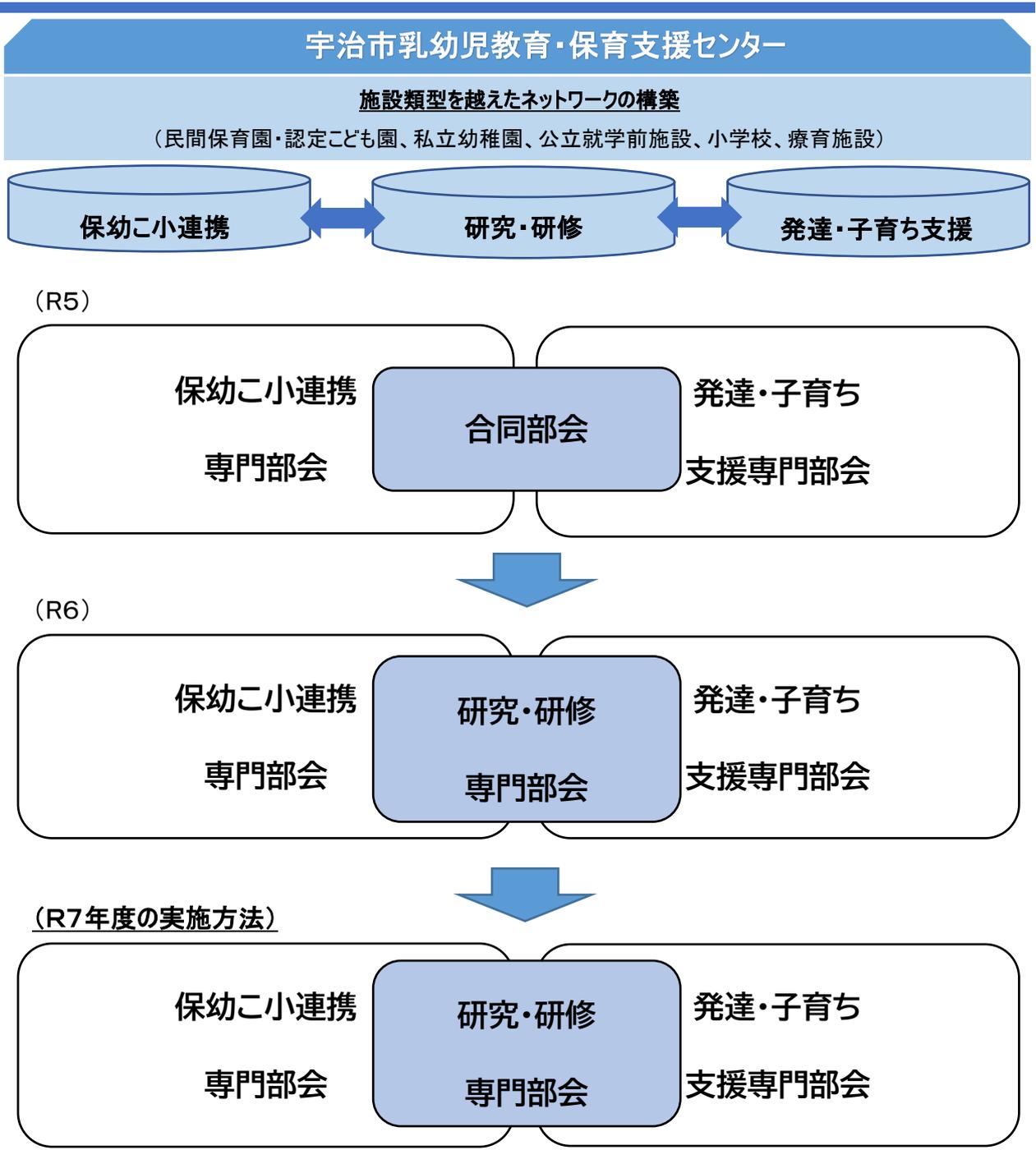
【参考】研究・研修専門部会の構成



○今後の検討体制

引き続き、「保幼小連携専門部会」、「発達・子育て支援専門部会」、「研究・研修専門部会」の継続設置をお願いしたい。

また、「研究・研修専門部会」については、他の2部会での議論等を踏まえた検討とするため、昨年度と同様の構成とし、研究・研修テーマ、実施方法など、内容の向上等についての検討をお願いしたい。



○令和7年度 保幼小連携専門部会 部会員名簿（案）

区分		所属等	氏名	備考
協議会 委員	学識経験者	京都教育大学教育学部 准教授	佐川 早季子	協議会会長
	私立幼稚園	こぞくら幼稚園 園長	松井 明恵	部会長
	公立保育所	北木幡保育所 所長	坂本 知枝美	
	小学校	岡屋小学校 校長	杉本 俊恵	
幼稚園・ 保育施設 の従事者	民間保育施設	施設類型ごとに推薦依頼		
	私立幼稚園			
	公立保育所			
	公立幼稚園			
小学校の 関係者	小学校			
療育施設 の従事者	療育施設			

【参考】令和6年度 保幼小連携専門部会 部会員名簿

区分		所属等	氏名	備考
協議会 委員	学識経験者	京都教育大学教育学部 准教授	佐川 早季子	協議会会長
	私立幼稚園	こぞくら幼稚園 園長	松井 明恵	部会長
	公立保育所	北木幡保育所 所長	坂本 知枝美	
	小学校	南部小学校 校長	杉本 俊恵	
幼稚園・ 保育施設 の従事者	民間保育施設	正 ひいらぎこども園 園長	中田 純子	
		正 明星っ子こども園 園長	清水 芳美	
		副 みんなのき黄檗こども園 園長	田中 みゆき	
	私立幼稚園	正 大谷大学附属大谷幼稚園 園長	緒方 知子	
		正 宇治幼稚園 副園長	井上 緑	
	公立保育所	正 小倉双葉園保育所 所長補佐	勝浦 慧	
公立幼稚園	正 東宇治幼稚園 教務	宮本 弘子		
小学校の 関係者	小学校	正 木幡小学校 教諭	中尾 佳那	
療育施設 の従事者	療育施設	正 府こども発達支援センター 療育課 主任保育士	中西 智佳子	
		副 府こども発達支援センター 療育課 主任保育士	井上 彩	

○令和7年度 発達・子育て支援専門部会 部会員名簿（案）

区分		所属等	氏名	備考
協議会 委員	学識経験者	京都教育大学教育学部 准教授	佐川 早季子	協議会会長
	民間保育施設	宇治福祉園 理事長	杉本 一久	部会長
	公立幼稚園	ひがしうじ幼稚園 園長	篠原 真奈美	
	療育施設	府こども発達支援センター 発達支援課長	中村 知雄	
幼稚園・ 保育施設 の従事者	民間保育施設	施設類型ごとに推薦依頼		
	私立幼稚園			
	公立保育所			
	公立幼稚園			
小学校の 関係者	小学校			
療育施設 の従事者	療育施設			

【参考】令和6年度 発達・子育て支援専門部会 部会員名簿

区分		所属等	氏名	備考
協議会 委員	学識経験者	京都教育大学教育学部 准教授	佐川 早季子	協議会会長
	民間保育施設	宇治福祉園 理事長	杉本 一久	部会長
	公立幼稚園	神明幼稚園 園長	岩崎 温美	
	療育施設	府こども発達支援センター 療育課長	中西 みき	
幼稚園・ 保育施設 の従事者	民間保育施設	正 こひつじこども園 園長	石川 敦子	
		正 榎島ひいらぎこども園 園長	宇野 智子	
		副 なかよし保育園 園長	山田 奈穂	
	私立幼稚園	正 西小倉幼稚園 副園長	藤本 薫	
		正 みのり幼稚園 主任	斉藤 あゆみ	
	公立保育所	正 宇治保育所 所長補佐	西口 真弓	
公立幼稚園	正 東宇治幼稚園 主任	伊藤 友香		
小学校の 関係者	小学校	正 御蔵山小学校 教諭	奥元 香奈	
療育施設 の従事者	療育施設	正 子ども発達さぼーとセンター あゆみ園 園長	荒田 幸子	
		副 子ども発達さぼーとセンター あゆみ園 主任	野村 公子	

○令和7年度 研究・研修専門部会 部会員名簿（案）

区分		所属等	氏名	備考
協議会 委員	学識経験者	京都教育大学教育学部 准教授	佐川 早季子	推進協議会 会長
	民間保育施設	宇治福祉園 理事長	杉本 一久	発達・子育て 支援 部会長
	私立幼稚園	こざくら幼稚園 園長	松井 明恵	保幼小連携 部会長
	小学校	岡屋小学校 校長	杉本 俊恵	保幼小連携 部会員
幼稚園・ 保育施設 の従事者	民間保育施設	R 7 保幼小連携専門部会 R 7 発達・子育て支援専門部会 両部会員から選出		
	私立幼稚園			
	公立保育所			
	公立幼稚園			

【参考】令和6年度 研究・研修専門部会 部会員名簿

区分		所属等	氏名	備考
協議会 委員	学識経験者	京都教育大学教育学部 准教授	佐川 早季子	推進協議会 会長
	民間保育施設	宇治福祉園 理事長	杉本 一久	発達・子育て 支援 部会長
	私立幼稚園	こざくら幼稚園 園長	松井 明恵	保幼小連携 部会長
	小学校	南部小学校 校長	杉本 俊恵	保幼小連携 部会員
幼稚園・ 保育施設 の従事者	民間保育施設	ひいらぎこども園 園長	中田 純子	保幼小連携 部会員
	私立幼稚園	みのり幼稚園 主任	斉藤 あゆみ	発達・子育て 支援 部会員
	公立保育所	宇治保育所 所長補佐	西口 真弓	発達・子育て 支援 部会員
	公立幼稚園	東宇治幼稚園 教務	宮本 弘子	保幼小連携 部会員

○令和7年度 専門部会への検討依頼事項

1. 保幼小連携専門部会

検討依頼内容（案）

- ① 架け橋ブロックを活用した保幼小連携の推進策について
- ② 保幼小の交流事業や架け橋期カリキュラム作成に向けた手引きについて

①について

- ・ 架け橋ブロック会議での意見や、各園等の課題、既に取り組んでいる事業などを共有し、全ブロックにおいて取り組みをさらに進めていけるよう、保幼小連携の進め方等について検討する。

②について

- ・ 人事異動や担当変更等の際に、新任担当へ過去の経過や現在の取組状況などを切れ目なく引き継いでいくことが重要である。
- ・ 交流事業等を実施しやすくしたり、架け橋期カリキュラム作成に向けて取り組めるような「手引き」の作成を考えており、それについて意見交換等を行う。

2. 発達・子育て支援専門部会

検討依頼内容（案）

- ① 専門職による園訪問について
- ② 移行支援シートの作成マニュアルの検討について

①について

- ・ 定期訪問により把握した各園の困りごと等と、それに対する専門職派遣の対応状況等について共有を図り、園訪問支援の進め方について意見交換等を行う。
- ・ 全ての子どもがより豊かに園生活が送れるよう、園の先生方が、発達に課題のある子どもやその保護者への対応力をさらに向上できる手法等について常に検討していく。

②について

- ・ 移行支援シートを活用していくため、今年度に研修を予定している。
- ・ 書き方のポイントを示した記入例等の作成を考えており、それについて意見交換等を行う。また、課題が生じた場合には改善に向けた検討を行う。

3. 研究・研修専門部会

検討依頼内容（案）

- ① 今年度の研究・研修事業の評価（PDCA）について
- ② 次年度に向けた研究・研修の検討について

①について

- ・ 令和7年度の研究・研修について、課題や今後にかすべき点など、評価を行う。

②について

- ・ 保幼小専門部会と発達・子育て専門部会での意見や、令和7年度の評価を踏まえて、令和8年度のテーマや実施手法等について検討する。

○令和7年度のスケジュール(案)

(協議会:乳幼児教育・保育推進協議会 専門部会:保幼小、発達・子育て支援)

時期	区分等	想定している検討事項
4月		
5月	協議会① (部会員推薦依頼)	検討体制協議、今後の取組 専門部会への検討依頼事項① など
6月		
7月	専門部会①	協議会からの検討事項に対する協議①
8月	(検討事項まとめ)	
9月	協議会②	専門部会からの報告事項に対する検討① 専門部会への検討依頼事項② など
10月	専門部会②	協議会からの検討事項に対する協議②
11月		
12月	研究・研修専門部会	次年度の研究・研修の検討 など
1月	専門部会③ (検討事項まとめ)	協議会からの検討事項に対する協議③ 次年度に向けた対応策の提案 など
2月	協議会③ (部会員推薦依頼)	専門部会からの報告事項に対する検討③ 次年度の専門部会への依頼事項 など
3月		

1. 研修のねらい

民間保育園・認定こども園、私立幼稚園、公立就学前施設(保育所・幼稚園)、小学校、療育施設等が施設類型を越えて、子どもたちの状況や課題を共有し、連携・協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成を図るとともに、各施設間、家庭・地域との連携を推進し、子育てや家庭・地域の教育・保育力の確保・向上を目指す。

2. 研修のポイント

- ・施設類型を越えた連携・協働の基礎となる顔の見える関係の構築「対面研修・グループワーク」
- ・基本理念をテーマとした研修、保護者対応力向上、人材育成・組織マネジメント力向上研修の継続実施
- ・子どもの育ちと学びをつなぐための実践研修「公開保育・公開授業」

(令和6年度の研修の様子)



公開授業



実技研修



人材育成ワークショップ



公開保育



グループワーク

令和7年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画

令和7年5月8日現在

対象者の目安となる時期等 初任期(1～6年)・中堅期(7～15年)・充実期(16年以降～)・管理職【あくまで目安で当該時期以外の方も受講は可能です】

分野	No.	月日 (予定)	形式	テーマ・内容	対象者の目安				必ず立 幼小 参加	講師	場所
					初 任	中 堅	充 実	管 理			
教育・保育の質の維持・向上	1	5月20日	講演・グループワーク	「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」 基本理念をキーワードに、エピソードをもちより、語り合うことを通して、教育・保育実践における具現化につなげる。	◎	◎	◎	◎		佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科 准教授	ひがしうじ幼稚園
	2	8月19日	実技研修	「絵本ではぐくむ子どもの感性」 幼児教育施設での絵本の環境づくりについて学び合う。	○	◎	◎	○		西村 恵里香 東宇治図書館 主任(図書館司書・絵本専門家)	ひがしうじ幼稚園
	3	10月28日	公開保育	「園の環境づくりについて」 子どもの創造的な表現活動や環境づくりについて実践から学び合う。	○	◎	◎	○		津田 純佳 アトリエリスタ (H29～R2文化庁新進芸術家海外研修員/イタリアレッジョ・エミリア市)	ひがしうじ幼稚園
	4	12月25日	公開保育	「保育を観て学び合う」【大久保保育所】 公開保育とその後の意見交換を通して、学び合う。	◎	◎	○	○		大久保保育所長	大久保保育所
	5	1学期 (6月26日)	公開保育・ グループワーク (全3回シリーズ)	「保育を観て学び合う」【ひがしうじ幼稚園】 参加者が、研修で学んだことをそれぞれの園で実践し、その結果を次の研修に再び持ち寄って学びを深め合っていく往還型研修	-	◎	◎	○		佐川 早季子 京都教育大学教育学部幼児教育科 准教授	ひがしうじ幼稚園
	6	2学期 (11月17日)									
	7	3学期 (2月2日)									
	8	調整中	公開保育	「保育を観て学び合う」【私立幼稚園】 公開保育とその後の意見交換を通して、学び合う。	◎	◎	○	○		調整中	調整中

令和7年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画

令和7年5月8日現在

対象者の目安となる時期等 初任期(1～6年)・中堅期(7～15年)・充実期(16年以降～)・管理職【あくまで目安で当該時期以外の方も受講は可能です】

分野	No.	月日 (予定)	形式	テーマ・内容	対象者の目安				必ず 市立 参加 幼小	講師	場所
					初 任	中 堅	充 実	管 理			
保 幼 こ 小 連 携	9	5月27日	ビデオ視聴・ グループワーク	「1年生の教室環境を観て学び合う」 スタートカリキュラム実践時の教室環境等を視聴しながら意見交換を通して 学び合う。	○	◎	◎	○		幾馬 礼奈 京都府山城教育局 指導主事	南部小学校
	10	6月23日	講演・ グループワーク	「宇治市のめざす教育・保育」 乳幼児教育・保育支援センターや教育支援センターがめざす教育・保育について、共有し、 一貫性・連続性のある教育・保育について語り合う。架け橋ブロック顔合わせを行う。	-	-	-	◎	☆	乳幼児教育・保育支援センター長 教育総合推進センター長 岡屋小学校長	生涯学習センター
	11	7月11日	ビデオ視聴・ 解説	「スタートカリキュラムの改善Ⅰ」 令和7年度のスタートカリキュラムを持ち寄り、児童の様子や成果と課題につ いて意見交流をする。また、架け橋プログラムを踏まえた新しいスタートカリキ ュラムとその実践について学び合う。(主対象:小学校教務主任)	○	◎	◎	○	☆	調整中	生涯学習センター
	12	7月28日	実践報告	「育ちと学びをつなぐ」 宇治市教育研究員の研究報告を通して、就学前施設は、小学校以降の教育を見通 しながらその基盤となる資質・能力を育成していくことを、小学校は、幼児教育 施設で育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施することについて学び合 う。	○	◎	◎	○		令和6年度宇治市教育研究員	生涯学習センター
	13	11月20日	ビデオ視聴・ 解説	「スタートカリキュラムの改善Ⅱ」 1学期の研修内容を踏まえ、令和8年度のスタートカリキュラム(案)を協働して 作成する。(主対象:小学校教務主任)	○	◎	◎	○	☆	調整中	生涯学習センター
	14	2月16日	実践報告・ グループワーク	「実践から学び合う」 令和7年度における各架け橋ブロックの取り組みの成果や課題等を報告し合い、 次年度の取り組みに活かす。	◎	◎	◎	◎	☆	古賀 松香 京都教育大学教育学部幼児教育科 教授	生涯学習センター

令和7年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画

令和7年5月8日現在

対象者の目安となる時期等 初任期(1～6年)・中堅期(7～15年)・充実期(16年以降～)・管理職【あくまで目安で当該時期以外の方も受講は可能です】

分野	No.	月日 (予定)	形式	テーマ・内容	対象者の目安				必ず参加 市立幼小	講師	場所
					初任	中堅	充実	管理			
発達・ 子育て支援	15	7月4日	講演	「不登校の現状と支援から幼児期を考える」 小中学校の不登校の現状や支援を知り、幼児期に配慮すべきことについて学び合う。	○	◎	◎	◎		植 えり 地域支援センター「サポートJOYO」 地域コーディネーター 教育支援課指導主事	旧木幡幼稚園
	16	7月15日	講演・ グループワーク	「宇治市のフォローシステムについて学ぶ」 発達面で支援が必要な子どもとその保護者に対する就学前後のフォローシステムについて学び合う。	◎	○	○	○		保健推進課発達相談員 学校教育課指導主事	旧木幡幼稚園
	17	8月1日	講演・ グループワーク	「移行支援シートの記入方法について学ぶ」 移行支援シートの活用事例や記入例から学び合う。	○	◎	◎	○		宇治市特別支援教育推進委員会委員	旧木幡幼稚園
	18	9月2日	講演	「0～1歳頃の子どもの発達について」 乳児期の発達段階を学び、その時期の子どもへの関わりを学ぶ。	◎	◎	◎	◎		服部 敬子 京都府立大学公共政策学部 教授	うじ安心館3階 ホール
	19	11月28日	公開授業	「インクルーシブ教育」(多様な学びの場創造事業と合同開催) モデル校による公開授業・研究報告会を通して学び合う。	○	◎	◎	○	☆	調整中	榎島小学校 北榎島小学校
	20	12月11日	グループワーク	「保護者支援について」 保護者の思いに寄り添い、支援していく姿勢について学びあう。	◎	◎	◎	◎		保健推進課発達相談員	宇治市役所8階 大会議室
	21	調整中	公開保育or ビデオ視聴	「行動分析とカンファレンス」 具体的な子どもの姿を通して、アセスメント、関わり方等について学び合う。	○	◎	◎	○		作業療法士	ひがしうじ幼稚園

令和7年度 研究・実践発表 (ひいらぎこども園)

No.	月日 (予定)	形式	内容	対象者の目安				必ず参加 市立幼小	講師	場所
				初任	中堅	充実	管理			
1	11月5日	公開保育	研究園の公開保育と実践発表、研究協議等を通して、学び合う。	◎	◎	○	○		木下 光二 鳴門教育大学大学院学校教育研究科 特命教授	ひいらぎこども園

令和7年度 架け橋ブロック一覧

令和7年4月1日現在

No.	小学校	公立幼稚園	公立保育所	私立幼稚園	民間認定こども園	民間保育所(園)	計
1	菟道		善法	こざくら		みんなのきHana	4
2	菟道第二		宇治				2
3	小倉		小倉双葉園	宇治	南浦くすのき		4
4	北小倉			小倉	こひつじ		3
5	槇島				槇島ひいらぎ のぞみ		3
6	北槇島				いずみ		2
7	西小倉		西小倉	堀池 西小倉			4
8	南小倉				南浦		2
9	神明			みのり	ひいらぎ		3
10	伊勢田				伊勢田		2
11	西大久保・平盛		大久保		同胞	くりくま	5
12	大久保・大開			ひろの		広野	4
13	三室戸・笠取				みんなのき三室戸	あさひ	4
14	南部	ひがしうじ		かおり			3
15	岡屋				みんなのき黄檗(分園)		2
16	木幡		木幡 北木幡		登り(本園) 第2登り		5
17	御蔵山・笠取第二			大谷大学附属大谷			3
18	宇治				みんなのき黄檗(本園) 明星っ子	なかよし(本園・分園)	5
						合計	60